

あなたの声を社会へ 世界へ 組合はあなたがつくれます 都教組八王子支部

都教組八王子支部ニュース No.2 2025/4/30

八王子支部ニュース

Tel : 042(623)1141(留守電あり) Fax : 042(627)8741

E-mail : sensei@tokyoso-hachioji.com & hachioji-tu@nifty.com



LINE



HP



E-mail

年度初め 組織確立・歓迎の取り組みに

ご協力ありがとうございました！

多くの組合員の方に、年度当初の忙しい中で、転入や新採の方の確認、分会で相談しての歓迎のチラシ渡しや声かけなど、動いていただきました。昨年1年目の方々に「皆さんの後輩に一言」と2月のうちにアンケートを送り、12名の方からお返事をいただきました。これをまとめ、「1年先輩からのメッセージ・アドバイス」として新採全員に届けました。こうして迎えた歓迎会当日の4月11日(金)、突然の雷雨で、残念ながら予定していたのに急に不参加の方もいましたが、新採5名、他地区からの異動2名を含む、計12名が集まりました。

参加者の感想

新採の方 「先輩たちの話、とてもためになりました！」「職員室では聞けないことや、別の学校で実践されていることが聞けて、有意義な時間になりました。」「これから不安なことがあれば、今日聞いた話を生かして対応していきたいです。」

他地区からの異動の方 「初任の時に、今日のような休暇のしくみや仕事の取り組み方などの話を聞きたかったです。」「経験を積まれた先生方のお話や、新採の方のお話を聞いて、とても刺激を受けたのと同時に、少しホッとする時間を過ごすことができました。」

「特別支援については勉強中なので、機会があれば参加したいです。」とのお声もあり、「特別支援についての交流会」もすぐに企画しました。

迎える側の「ちょっと先輩」 「自分の実践についてアウトプットができる貴重な機会になりました」とのコメントがあり、お互いに学べる良い場になりました。

当日の参加者だけではなく、それまでの取り組みを通して、新しいつながりができつつあります。いっぽう、すでに2名の新採が離職したという残念なニュースもあります。全都で新採の取り組みが行われましたが、練馬の教員2年目の青年の呼びかけを掲載します。これ以上離職者が出ないことを願い、引き続き、みんなが安心して働き続けられる職場を作るよう、ともに頑張りましょう。

練馬の教員2年目の青年の呼びかけ ～組合に入ってよかったこと二つ～

一つはほかの学校の先生方と情報交換ができること。自分へのアドバイスと自分の学校の問題点に気づく。もう一つは学習会の機会を得られること。学級経営・教科指導について、もっと学びたいと思っていてもどうやって学べばいいかわからなかった。最大の魅力は、学校で働くうえで『これっておかしくない?』と思ったことを愚痴や我慢だけで終わらせるのではなく、みんなで共有して実際に改善することができること。

やっぱり心配 大阪・関西万博 パートⅡ

開幕し、学校からの団体参加も始まりました。「いろいろ心配したけど、行ってみたら面白かった」「パビリオンの見学は面白かった」という生徒の感想も紹介されています。しかし、これから暑くなっていく中で、やはり安全面は心配。

もともと廃棄物による人口の島で、出入り口は地下鉄と自動車道。学校団体はバスでしょうが、駐車場から建物のあるところまで、850メートルの間、日陰がありません。車内で具合が悪くなった生徒はかなりつらいでしょう。パビリオンの間もかなり離れている、行列などをよけるため最短距離で移動できない、日陰も風雨除けも少ない。程よい気候であることを祈るばかりです。自動販売機はたくさんあるので水分補給はできるかもしれませんが、現金では買えません。ICカードを使うのでしょうか、子どもはよくなくしますよね。

保護者アンケートや、「実踏が十分できない」と学校の判断で変更したケース、生徒の選択制にしたケースなどもあります。大阪府豊中市は保護者の反対署名が、2月には2000筆台だったものが、3月末には2万7000筆を超えました。

参加する場合、安全面の配慮を万全に、と願わずにはられません。

特別支援について考える交流会

◎日 時 5月8日(木)

午後6時開場、6時半開会 午後8時ごろ終了

◎場 所 生涯学習センター南大沢分館 第1学習室

昨年度新採へのアンケート、今年度新採の方からの声、両方にこたえて企画しました。思いがけなく特別支援学級や特別支援教室の担当になって戸惑っている方々、率直な気持ちを出し合ひましょう。通常級と特別支援学級、両方を担当した経験者がアドバイザーとして参加します。

非常勤教員、専門員、時間講師、SC等、学校で働くみなさん

校務パソコン貸与されていますか？

みなさん、正規の教職員には校務パソコンが各自1台貸与されています。また、それ以外で勤務形態が非常勤の方でもIDとパスワードが付与され、校務パソコンが貸与されている方もいます。ところが学校によっては、校務パソコンが貸与されないケースが多々あるようです。

- ・校長から『週案を出してください』と言われても、作成する校務パソコンがなく作成できない
- ・いじめ研修などでパソコンを使うときも校務パソコンがないので不便だった
- ・成績処理や学習プリントが作れない。日常の授業でも児童生徒に掲示物をパソコンで示すことができず、とても不便で困っている
- ・おまかせ校務の連絡掲示板を見られないので、自分だけ連絡されずに日々校務に支障が出る

など、様々な声が支部に届いています。学校によって貸与される基準もはっきりせず、管理職や現場の担当者の対応も違います。今時ICT教育推進といいながら、校務パソコンが全職員に貸与されないこと自体が異常で、市教委はどう考えているのか。みなさんの職場での様子を支部までお知らせください。今後、市教委に改善を求めていると考えています。